

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 3 月 31 日

事業所名 まなびの森キラリ十日市場

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・普段は、運動・机上で部屋で分けているが、ダイナミックに遊ぶときは開けて広く使う等工夫をしている。分けることで落ち着いて活動に取り組んでいる。	
	2 職員の配置数は適切である	○			・言語聴覚士や作業療法士等の専門知識のある職員を募集している。いることで活動内容の幅が広がる。職員のスキルアップにもなる。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・部屋の中は明るい窓が多く、開所当時は子どもが落ち着かなかつた。カーテンを閉めるなどして視線が外に行かないように工夫した。現在は環境に慣れ気になっていない。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・毎日、療育後の掃除は職員全員で行っている。床に寝転んで行う活動もあるので、清潔を保てるように心がけている。	・物をあまりおかず、子どもが動いても危険のないように配慮している。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			・今年度の評価を生かして、改善すべき点は検討していく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・ムーブメント療育が主体となっているので職員全員が夏季講習に参加し支援に取り入れている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		・療育を利用する前に受けている子もいる。 ・臨床心理士がいれば定期的に行えるので検討していきたい。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・全職員で確認し共通理解を持ち支援している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・子どもたち1人ひとりの発達動きに合わせて、内容を変えている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・区内が主催するイベントに子どもたちと参加している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		・人工内耳のお子さんが1名通っている。本児が通っている病院の言語聴覚士さんとは連携をとっている。見学にも来ている。その際アドバイスを頂いたら療育に生かしている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・年長児は、保育園・就学先の小学校(要録等を通して)情報共有している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		・利用者は、全員保育園に通っているため療育に出来ない日は活動を共にしている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している	○		イベントなどに参加したり、講師として交流する時がある
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・面談や電話で相談された場合は、アドバイス等をしているが、全体的に向けてはない。今後は保護者の勉強会も考えている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・夏祭りや親子ムーブメントを開催した。今後は懇談会のような雰囲気親子・親同士が楽しめる会を企画していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・面談では必ず要望などあるかを確認し、職員間で周知改善している。 ・すぐに対応することができることは、早く実施し解決方法を考えていく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・今後は、活動内容や子どもの様子がわかるよう、年数回おたよりの発行を考えている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・写真を使用するときや受給者証の取り扱いには十分配慮している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・現在アレルギーの子はいない。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表： 2024年 3 月 31 日

事業所名 まなびの森キラリ十日市場 保護者等数(児童数 23(家庭数22)回収数 22 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	0	0	1	・とてもスペースがありがたいと思います。 ・小集団なので広すぎず狭すぎずいいと思う。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17	1	0	3	・適切だと思っております。 ・言語聴覚士さんがいたらより専門性が高くなり、安心です。 ・内容には満足していますが、人員不足が明らかと感じます。	・引き続き言語聴覚士を募集しています。職員も学んでスキルアップを目指していきたいと思います。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19	0	0	3	・バリアフリーになって生活空間がよいと思います。 ・分かりやすいが物を選ぶことの出来ない子には分かりにくいかもしれません。 ・視覚的にも分かりやすくなっていると思います。	・写真や絵など不十分なところもあるので、玩具の場所や共有スペースを示してより分かりやすく工夫をしていきたいと思っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19	0	0	3	・とてもいい、心地よい環境で活動されていると思います。	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	21	0	0	1	・児童発達支援計画が作成されています。 ・保護者の意見も取り入れて子どもが自立、成長できるよう計画していただいていると感じます。 ・困っていることに丁寧にして頂き助かりました。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21	0	0	1	・支援に沿って内容をやって来ています。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20	0	0	2	・行われている。	
	8 <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	19	1	0	2	・工夫されていていいと思います。 ・子どものやる気やスピードに合わせて活動を工夫して頂いています。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	15	1	0	6	・交流とかあつてとても楽しかったです。 ・保育所へ行っているので特に問題ないと思う。	
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	0	0	0	・負担等について説明が見学の時に話したので聞きました。 ・いつも分かりやすくととても助かりました。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	22	0	0	0	・児童発達支援計画を決めてから支援の内容の説明がありました。	

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	9	4	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・もっとアドバイスが欲しい。 ・特別なプログラムはないが、日々のやり取りや面談で支援いただいています。 ・子どもの得意なところや課題に対する対応方法を保護者にも伝えて頂いています。 ・子どもの様子を見に行きたく思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の面談だけでは実際のお子様の様子が分からない場合もありますので、キラリではいつでも療育の見学を受け付けております。その際にお子様への関わり方や声掛け等、お力になれることがあります。もしご相談させていただきましたらご相談させていただきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	18	2	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	2	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・行われていると思います。 ・定期で面談をしていただいているので、親子で安心して通っています。 ・私自身とても助けられました。 	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	7	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・いまいち不十分です。 ・会というものはありませんが、夏祭りやイベントを通して保護者同士の交流の場を作っていると感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は夏祭り親子グループを開催しましたが、今後はそれに加えて保護者会なども企画していきたいと思っています。保護者同士の情報共有の場を増やしていきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	18	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・とても対応してくれています。 	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・されていて良いです。 	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	3	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・活動や行事については周知いただいています。自己評価については分かりません。 ・とてもよく行事など連絡が届いています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お知らせが遅くなり申し訳ございません。自己評価の結果等は当施設のホームページに掲載されています。ぜひそちらをご確認いただけたらと思います。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	19	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・十分注意してくれています。 	
	非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	7	0	0	15	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ子どもたちが訓練をしているか分かりません。
21		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	0	0	18	<ul style="list-style-type: none"> ・やっているのか聞かないと分かりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の実施、お知らせについては、当施設の玄関に掲示をしています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	21	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・とても楽しみにしている。 ・生活の一部になっている。 ・子ども自身が通所を楽しみにしていて、今日はどんなことをやるのかなど話もしてくれるようになりました。 ・いつも楽しみにしていて、楽しく過ごしていました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後子どもたちが楽しんで通えるような体験をしていきたいと思っています。
	23	事業所の支援に満足しているか	19	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・とても満足しているので支援をよろしく願います。 ・今年度から送迎の形が変わるようで多少不安があります。 ・丁寧なご対応、ご指導にとても満足しています。 ・活動内容も工夫をこらして頂いて、保護者に対しても情報を詳細に共有して頂いているので助かっています。 ・大変感謝しております。いつもありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもキラリ運営にご協力いただきありがとうございます。 ・お子様をはじめ、保護者の皆様にも安心して頂けるよう療育提供をしたいと思っております。みんなが楽しめる企画を考えていきますので、今後ともよろしくお願い致します。